

壁紙施工要領書

- 紙布壁紙 -

【該当品番】 (2024- Lilycolor MATERIALS)

LMT-16144～16171

■ 特長

- ・テープ状の紙を小撚り状にし、特殊な染色技法で着色し、織りあげた紙糸壁紙です。

■ 選択上の注意

- ・自然素材である紙を主素材にして織り上げていますので、製造上色差・段差・結び目が出る場合があります。
- ・光沢のある糸は、光の当たり具合や下地の影響で左右色差に見える場合が有ります。
- ・織り柄の揺らぎや目曲がり、凹凸によってジョイントは合いません。あらかじめご了承ください。
- ・水が直接かかる場所への使用は避けてください。表面に汚れが付着すると、取り除けません。

■ 下地調整

- ・施工後の下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は、除去するようにしてください。
- ・パテは下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・貼り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあと施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと目開きの原因になります。

※詳しくは、施工上のご注意の共通事項をご確認ください。

■ 接着剤

- ・糊付け機を使用しての糊付けは可能です。
- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：7にエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。また、塗布量は多めにしてください。
- ・エチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要です。
- ・濃度の薄い接着剤は、糊が吸い込まれてしまい接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして後の目開きの原因にもなります。
- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■ 養生・オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間を10～15分程度を目安に作業を進めてください。
- ・オープンタイムは過度にとると乾燥して、アイハギの発生や、ずらし・あおりの作業が困難となり、施工不良の原因になる恐れがあります。
- ・タタミジワを防ぐため、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■ なで付け・ジョイント

- ・素材の特性上、ジョイント部に色差・段差が出やすいため、目地取り施工またはジョイナー使用をおすすめします。
- ・表面が傷つきやすいため、なで付けはスモーカーやウレタン製のローラーを使用してください。柔らかめの刷毛の使用も可能ですが、引っ掛かる場合がありますので丁寧に行なってください。
- ・ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ・ローラー掛けの際、あまり強くかけますと、テカリやキズが発生してジョイント部分が目立ってしまうことがあります。当て紙などをするようにしてください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えるようにしてください。
- ・壁紙表面に接着剤等が付着した場合は、直ちにきれいな水で拭き取ってください。変色の原因になります。

■ 施工後

- ・ 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。
目開きやハガレ等の原因になります。